

- 1 審議会名 武石地域協議会
- 2 日 時 平成21年8月26日 午後5時00分から午後6時05分まで
- 3 会 場 武石地域自治センター 2階会議室
- 4 出席者 新井繁雄委員、井出守雄委員、伊藤隆子委員、上野正司委員、柿島祐子委員、木下文雄委員、清住章雄委員、小山洋江委員、桜井敏昭委員、高田忍委員、滝沢由美子委員、中嶋和夫委員、橋詰真由美委員、松井幸夫委員、依田せつ子委員(欠席5名)
- 5 市側出席者 宮下センター長、広川地域振興課長、山口市民生活課長、犂山産業観光課長、桜井建設課長、近藤健康福祉課長、児玉地域政策係長、掛川主任
- 6 公開・非公開等の別 公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 21年9月2日 作成部局課名 武石地域自治センター 地域振興課

協 議 事 項 等

- 1 開会(広川課長)
- 2 会長あいさつ(桜井会長)
- 3 センター長あいさつ(宮下センター長)
- 4 会議事項
 - ・武石地域公園化構想について
 - (会長)武石地域公園化構想は、これまでの地域協議会で協議してきたことをもとに共通の思いをまとめ、武石地域全体を地域住民の力や発想をもって地域おこしをしていったらどうかという構想である。行政から説明をいただき、これについて皆さんで協議していただきたい。
 - (センター長)年度当初に委員の皆さんから、「余里の花桃や信広寺のしだれ桜などの地域資源を使った観光地づくりができないか」「わがまち魅力アップ応援事業を持続していき、もっと地域づくりを進めたらどうか」「地域協議会でも地域づくりについて具体的に考えていく必要があるのではないか」「地域振興基金を有効に使っていかねばならない」など、さまざまな意見が出された。それらの意見を総合的な考えとしてまとめると、武石地域公園化構想という形になった。前回の協議会でたたき台となる資料を提案し、方向づけをしていただいた。皆さんの意見を基にした武石地域公園化構想を共通の認識として、武石全域でどう具体化していくかを地域協議会で協議していただきたい。「地域一丸となって市民協働の地域づくりを進めていく」ことが重要になってくる。市民による地域づくりに対して、行政は予算的な配慮や労力の提供などで協力していけたらと考えている。わがまち魅力アップ応援事業は、5自治会が取り組んでおり、独自に地域づくりに取り組んでいる自治会もある。現在、各地域で取り組んでいる地域づくりを武石全体に広げて、武石全域を公園化していければよいと思っている。
 - 【説明要旨】
 - <武石全域公園化への取り組み(案)>
 - * 理念
 - 地域住民全員が、地域を美しくするという共通の意識を持って、武石に住む人だけでなく、訪れる人にも安らぎを与える地域づくりを進める。
 - * 取り組み(案)
 - 1. 武石地域のテーマを設定
 - ・統一した花等の植栽(自治会単位など、ある程度の規模で植栽)
 - ・トガの生け垣づくり
 - ・地域全体の一斉清掃日の設定(ごみ拾い、草刈り、用水路掃除等) など

2. 自治会等地域ごとに地域づくりのテーマを決定

- ・わがまち魅力アップ応援事業を利用した地域づくり（自治会）
- ・農地を保全したり、里山を整備したりし、美しい農山村風景の創出

* 財源

わがまち魅力アップ応援事業、地域予算（地域振興基金）の活用

（建設課長）現在、武石地域にある地域資源などを図面に示しているのので、ご説明したい。

【説明要旨】

* 武石地域にある地域資源

武石公園（ヤマツツジ）ともしび公園、ともしび博物館、マレットゴルフ場、武石温泉うつくしの湯、河川公園、信広寺のしだれ桜、子檀嶺神社の桜、余里の一里花桃の里、唐沢の福寿草・アジサイ、大布施のもみじ（わがまち魅力アップ事業で取り組み中）、巢栗溪谷、番所ヶ原スキー場、美ヶ原高原（レンゲツツジ）、美ヶ原への登山道（焼山沢登山道、物見石山登山道）など

* 新たな取り組み（案）

- ・小沢根川沿いの桜が天狗巣病にかかっているため、伐採してアジサイを植栽
- ・武石公園のヤマツツジの復活
- ・唐沢の福寿草の復活（取り組み中）
- ・番所ヶ原スキー場の夏場利用の検討（花の観賞等）
- ・美ヶ原高原 笹刈りによるレンゲツツジや山野草の復活（取り組み中）
- ・美ヶ原への登山道を利用したツアーを組み、宿泊施設の活用につなげる

（会長）それでは、意見があればお出しいただきたい。

（委員）鳥屋自治会では、わがまち魅力アップ応援事業を活用して、鳥屋自治会の史跡発掘に取り組んでいる。武石地域内には史跡がたくさんあると思うので、史跡も公園計画の中にも含めたらどうか。また、鳥屋自治会では、バイパス入口の荒廃農地に花を植えたり、田にヒガンバナを植えたり、地域づくりに取り組んでいる。

（委員）トガの生け垣は冬も枯れないので、木が大きくなりすぎると道路凍結の原因になる場合もある。西武地域では、空き家になった家の生け垣の対応に苦慮している。また、西武自治会は、面積は広いが人が少ないので、地域づくりに取り組みたくてもできない状況である。ぜひ他地区や他地域から協力してもらえるとありがたい。

（委員）私たち住民自身が地域を良くするために、まとまって動いていかなければいけない。地域づくりは、自治会単位でまとまっていけたらよいと思う。また、「武石の桜と呼ばれる会」で以前に植えた桜が大きくなっているが、現在は手入れされていない。七ヶ自治会でやっていかなければいけないのかなと思っている。

（委員）ただ車で通り過ぎて、見て終わってしまうような場所だけでなく、2時間程度歩いたり遊んだりして楽しめる場所も必要ではないか。

（委員）武石の住民一人ひとりが、武石を美しくするための地域づくりを自分たちで進めるという理念を認識して、地域づくりに取り組んでいかなければいけないと思う。武石地域を自分たちでよくするためにどうしていったらいいかを、住民自身で考えていかなければいけない。

（委員）各自治会にある公民館の庭も自治会で整備して、公園化していったらよいと思う。また、武石は標高差があるので、地域に合った花木を選ぶ必要がある。

（委員）武石公園のツツジ復活には、ぜひ取り組んでほしいと思うが、藪合自治会では、数年前からホテル水路の整備に取り組んでいる。1～2年でなかなか効果は現れないが、継続して地域づくりに取り組んでいくことが必要だと思う。

（委員）地域づくりを企画しても、なかなか若い人たちが集まらない。若い人が参加してくれるような企画を考えたらどうか。

（委員）余里の花桃の里の地域づくりは、地域のリーダーがしっかりしているため持続性があり、すばら

しい例だと思う。地域づくりは、押しつけでやられるものではなく、地域のリーダーが先頭に立ち、住民をまとめ進めていくものと思う。行動できる地域のリーダーを育てていけば、持続性のある地域づくりにつながるのではないか。

(委員)今までは、武石全体や自治会で地域づくりなどに取り組もうという機運が低かったが、公園化計画は住民みんなが取り組めるテーマだと思う。

(委員)地域づくりを進めていく後継者を育てるのが難しく、藪合自治会でも苦慮している。

(委員)住民に理念を理解してもらうために、都市計画と同様に行政が地域に説明していく必要がある。

(委員)余里の花桃の里の地域づくりは、とても参考になると思うので、余里の方から話を聞く機会を設けたらどうか。主催が行政では、地域づくりの意味がない。地域協議会などの「民」が主体となって、地域づくりの勉強会を行ったらどうか。

5 その他

(桜井会長)次回の協議会は、9月の第2週に開催したいと思う。部会を行いたいと思うので、よろしくお願ひしたい。他に何かあるか。

(産業観光課長)本日、通知をお配りしたが、9月23日(水)に美ヶ原の笹刈りを予定している。委員の皆さんにもぜひ協力願ひたい。

6 閉会(小山副会長)